



特集 2

# スポーツをもっと楽しく

東京2020大会を  
きっかけに  
生きがいを見つけよう

2020年のオリンピック・  
パラリンピック開催が近づき、  
スポーツ関連のイベントも増え  
てきました。これをきっかけに、  
あなたもスポーツをもっと身近  
にしてみませんか。運動で心も  
体も豊かに。市のスポーツ事業  
の取り組みを紹介します。



# 東京2020大会などに向けた さまざまな取り組み

## スポーツをもっと身近に

### Sports for All イベント

誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、平成28年から定期的なスポーツ体験イベント「Sports for All」を開催しています。サッカーやバレーボールなどなじみ深い競技はもちろん、ラグビーやカヌー、水球など、普段なかなか触れる機会が少ない競技も気軽に体験できるイベントとして好評です。



### スポーツボランティアHANDS

大勢の人が楽しめるスポーツのイベントや大会を実現するには、スポーツをする人、見る人だけでなく、スタッフとして運営を支える人たちの力が不可欠です。平成30年に組織された武蔵野市のスポーツボランティア「HANDS」は、障害者スポーツを含めた市内のスポーツイベントや競技大会の運営を支えてくれるボランティア団体です。スポーツを盛り上げ、支える喜びを分かち合うことができる活動です。



ボランティアを通じて地域の知りが  
合いが増え、仲間と楽しめるスポ  
ーツの幅が広がりました



## 一人ひとりのチャレンジをもっと

### ボランティアの樹 ～わたしのチャレンジ

4月に開催した「武蔵野桜まつり」で、今年もボランティアの樹に力強い葉が生い茂りました。ボランティアの樹は、市内の学校や団体の方が描いた幹の絵に、参加者たちが「2020年に向けた目標や抱負」を書いた葉を貼っていく取り組みです。参加者からは「2020年が来る実感が湧いた」「他人の目標を見て刺激を受けた」などの声がありました。



2020年に向けた、さまざまな目標や思いが集まりました。

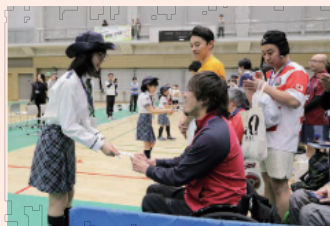
## 教育と学びの機会として

### 来街者歓迎しおり

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会などによる海外からの来街者をもてなす試みとして、市内の子どもたちの絵を使ったしおりを作りました。東京スタジアムでのラグビーの試合日には武蔵境駅前で配るなど、機会に合わせて活用しています。



絵柄は現在91種あり、今後も増える予定です。



### むさしのジュニア2020通信

広報誌「むさしのジュニア2020通信」では、「ジュニア特派員」となった市内の小中高生12名が、さまざまなスポーツイベントなどを取材し、自分の言葉で記事にしています。今年1月の創刊号に続き、5月には第2号が発刊されました。



上の2次元コードで、ウェブサイトから読むことができます。

### 小中学校での体験授業や選手の学校訪問

市内の小中学校では、パラリンピック競技の体験や選手の学校訪問を通じた障害への理解促進や、体育の授業支援として地元のトップアスリートによる競技体験などを行っています。平成30年度は海外のパラアスリートの訪問もありました。



強化合宿で来日した海外のパラアスリートたちが学校訪問しました。



### 国際交流をもっと豊かに

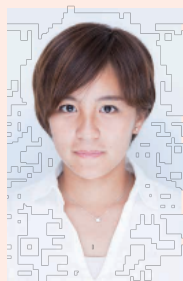
ルーマニアのホストタウンとして、ルーマニア文化の理解を深める事業を行っています。また、英語コミュニケーション講座を開催するなど、東京2020大会などをきっかけに国際交流を豊かにするための取り組みを多数進めています。

ルーマニア・ブラショフ市とは友好都市関係!



英語による自己紹介や道案内を学べる無料講座は、参加者大変好評でした。

## 応援しよう！ 武蔵野市ゆかりの選手たち



岩淵真奈さん

女子サッカー

武蔵野市出身。16歳でA代表デビュー。2011ドイツW杯では、スーパーサブとして優勝に貢献。2018年女子アジア杯においても優勝に貢献し、MVPに選ばれる。東京2020大会でも中心選手として期待されている。



田中章仁さん

5人制サッカー(視覚障がい)

武蔵野市在勤。2009年日本代表初選出。以降、日本代表のDFの要として活躍。国内ではたまハッサースに所属し、日本選手権(2017年)、クラブチーム選手権(2019年)、地域リーグ(2018年)などの大会優勝に貢献。

# これからもさまざまな取り組みが始まります！

## 1 ラグビーワールドカップ 関連イベントにも注目



開幕戦（日本対ロシア）の観戦イベントなど、さまざまなラグビー関連のイベントが開催される予定です。ぜひご注目ください。

## 2 市がロシアチームの 公認チームキャンプ地に！



ラグビーワールドカップ2019™で武蔵野市はロシアチームの公認チームキャンプ地になりました。ロシア語のメッセージ動画を作成し、チームを応援します。

ロシア・ハバロフスク市  
とは友好都市関係！

## 3 東京2020大会では 吉祥寺にライブサイトが出現します



ライブサイトは、大型モニターで誰もが競技中継の感動を味わえる場所で、都内のライブサイトの1つに井の頭恩賜公園が選ばれました。

提供：東京都

## 4 武蔵境がシャトルバスの発着場に



ラグビーワールドカップでは、武蔵境が交通の要になり、たくさんの来街者が行き交います。関連イベントも実施予定です。

## 5 今後も盛りだくさん！ Sports for All フェイスブックを要チェック

市内のスポーツイベントやホストタウン交流、東京2020大会組織委員会の情報など、幅広い情報発信をしています。

## 6 むさしのジュニア2020通信は今後も

11月ごろの第3号発行に向け、特派員による取材と執筆が進んでいます。今後も児童・生徒たちの力作をお楽しみに。

## 7 競技体験や市民参加イベントが続々

2020年に向けて市民参加のスポーツイベントや健康促進の取り組みがさらに増加。奮ってご参加ください。

## 8 まちの安全を高める訓練を強化

世界最大級のイベントに向けて、災害対策やテロ対策の訓練をいっそう強化し、来街者も市民も安心して過ごせるよう安全・安心に努めます。

この機会に、皆さんの  
地元スポーツや地域行事  
への関心が高まるよう  
頑張ります！



企画調整課 オリンピック・  
パラリンピック担当 担当係長  
齊藤大輔さん

## 大会をきっかけに一人ひとりの暮らしを豊かに

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会の開催で、これから東京はますますにぎやかになります。

スポーツの大会は、選手の活躍を見て楽しむだけでなく、多様な文化が出会い、理解しあう機会でもあります。観戦の感動を共有したり、運動で健康になることはもちろん、スポーツが一人ひとりの居場所となったり、地域とのつながりを深めるき

かけとなることも大切です。

2019年、2020年と大きな祭典が続くこの貴重な機会に、市民の皆さんに魅力的なまちづくり、互いに認め尊重し合う社会の実現について考えてもらえるような仕組みづくりが重要だと考えています。

これからは市はさまざまな取り組みを進めていきますので、市民の皆さんの積極的なご参加を心よりお待ちしております。